

入場無料

鉄斎美術館・宝塚市立中央図書館聖光文庫共催企画展

# 富岡鉄斎の妻・春子

—歌をよみ、土にあそぶ—



2016(平成28)年 2017(平成29)年  
12月4日(日)~2月9日(木)

【開室時間】午前10時~午後5時

【休館日】水曜日・第2金曜日

年末年始(12月28日~1月4日)

【会場】宝塚市立中央図書館聖光文庫

【阪急宝塚線 清荒神駅前】TEL 0797(84)6121

〒665-0836 宝塚市清荒神1丁目2番18号

晴文齋 晴わつるふらふらとふらふら  
いふのふらふらふらふらふら

初夏  
ふらふら  
神の卯月  
さつちをさつち  
いふのふらふら  
春子

## 展覧会の見どころ

近代文人画の巨匠・富岡鉄斎（1836～1924）の生誕 180 年を迎えた 2016 年は、妻・春子（1846～1940）の生誕 170 年にもあたります。

現在の愛媛県大洲市長浜町に生まれた春子（旧姓佐々木ハル）は、明治 5 年（1872）に鉄斎と結婚しました。新婚当時、鉄斎は旅行で留守にすることが多く、家計のやりくりの苦勞が絶えませんでした。そうした春子を励ましたのは、歌人・陶芸家の大田垣蓮月尼でした。鉄斎や蓮月のゆたかな感性が、春子に多くの影響を与えたことは言うに及びません。また、一人息子の謙蔵（1873～1918）が 46 歳という若さで先立ったことは、鉄斎・春子夫婦にとって大きな悲しみでした。謙蔵の死を深く悼み、春子は高野山に石塔を建立、三回忌には地藏尊の銅像を奉納しました。

本展では、夫を支えながら、四季折々の和歌を詠み、手びねりの作陶を楽しんだ富岡春子に焦点をあてます。鉄斎・謙蔵の関連資料、聖光文庫の図書を交えた展示をご覧ください。

鉄斎美術館・宝塚市立中央図書館共催

## 第 5 回聖光文庫文化講座

日時：2016（平成 28）年 12 月 4 日（日）

午後 1 時 30 分～4 時

第 1 講 影山 純夫 氏

（神戸大学名誉教授）

「雪舟と鉄斎」

第 2 講 高木 博志 氏

（京都大学人文科学研究所教授）

「鉄斎が顕彰する歴史」

会場：宝塚市立中央図書館 2 階集会室

申込・問い合わせ：0797-84-6121

## 【主な展示品】

名称	作者ほか	制作・発行年	摘要	所蔵
【作品】				
挿花器	富岡春子	大正 11 年(1922)	喜寿	清荒神清澄寺
富岡春子和歌色紙「干はやふる」	富岡春子	大正 13 年(1924)		清荒神清澄寺
月に雁図 自画賛	富岡春子	大正 14 年(1925)	掛幅	清荒神清澄寺
高千穂峰図 自画賛	富岡春子	昭和 2 年(1927)	掛幅	清荒神清澄寺
寿書	富岡春子	昭和 2 年(1927)	色紙	清荒神清澄寺
富岡春子和歌短冊	富岡春子	明治～昭和時代		清荒神清澄寺
急須図 自画賛	大田垣蓮月	江戸～明治時代	額装	清荒神清澄寺
富岡謙蔵書簡	富岡謙蔵	明治 30 年(1897)	鉄斎・春子宛 掛幅	清荒神清澄寺
無量寿仏堂書	西園寺公望	大正 11 年(1922)	額装	清荒神清澄寺
富岡春子遺詠集 はなかたみ	富岡春子著 富岡とし子編・書	昭和 30 年(1955)		清荒神清澄寺
【資料】				
石塔建立之契証		大正 8 年(1919)	高野山浄菩提院発行	清荒神清澄寺
中日牌之契証		大正 8 年(1919)	高野山浄菩提院発行	清荒神清澄寺
(複製)桃華流水図	原跡:富岡鉄斎	大正 8 年(1919)	箱書「桃華居士遺念」	清荒神清澄寺
富岡鉄斎・夫人佐々木氏墓碑拓本	原跡:内藤湖南	昭和初期	掛幅	聖光文庫
【関連図書】				
桃華盃古鏡図録	富岡謙蔵蒐集 梅原末治編	大正 13 年(1924)		清荒神清澄寺
古鏡の研究	富岡謙蔵	昭和 49 年(1974)	臨川書店発行	聖光文庫
贈君百扇	富岡鉄斎	昭和 54 年(1979)	小学館発行	聖光文庫
胎咲墨戯	富岡鉄斎	昭和 59 年(1984)	芸艸堂発行	聖光文庫

## 鉄斎美術館

### 「鉄斎の器玩—四季を愛でる—」

会期：2017 年 1 月 5 日（木）～2 月 12 日（日）

午前 10 時～午後 4 時 30 分（入館は午後 4 時まで）

月曜日休館 ただし 1 月 9 日は開館、翌日休館

※下記の日程で学芸員による展示説明会を行います。

1 月 14 日・28 日の各土曜日、午後 1 時 30 分より

入館料：一般 300 円、高大生 200 円、小中生 100 円

会場・問い合わせ：鉄斎美術館 Tel 0797-84-9600

〒665-0837 宝塚市米谷字清シー番地 清荒神清澄寺山内

